

## 【集計報告】「若手教員の教師力向上」に関するアンケート

### <調査対象と調査時期>

小学校 170校	… 採用2・3年目教員：288名，教務主任：170名	※調査時期 … 平成24年9月4日（火）～9月21日（金）
中学校 73校	… 採用2・3年目教員：152名，教務主任：73名	※調査時期 … 平成24年9月19日（水）～10月5日（金）

### <有効回答数>

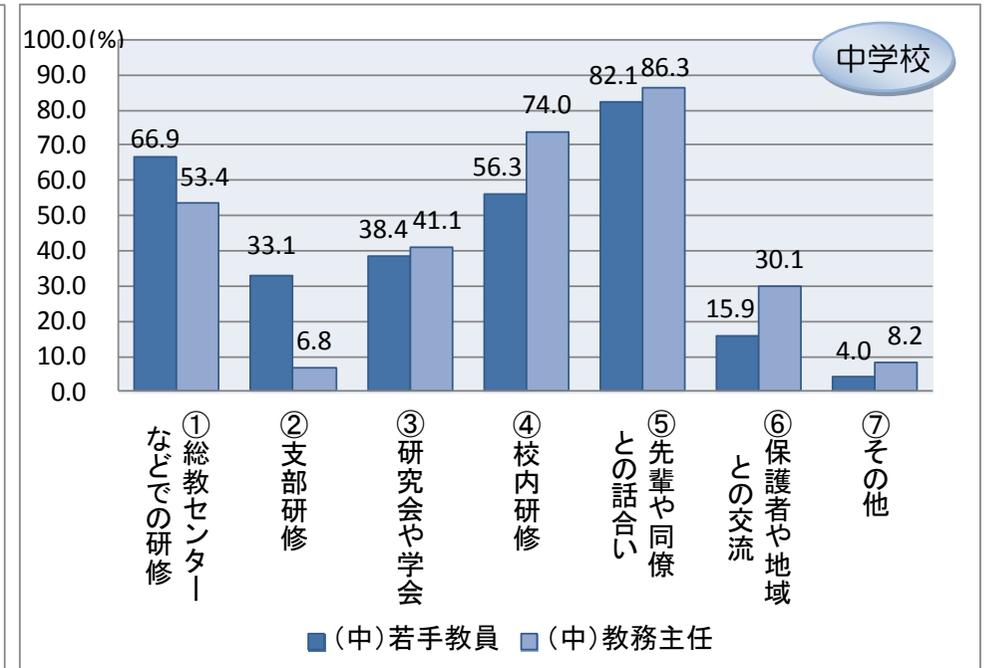
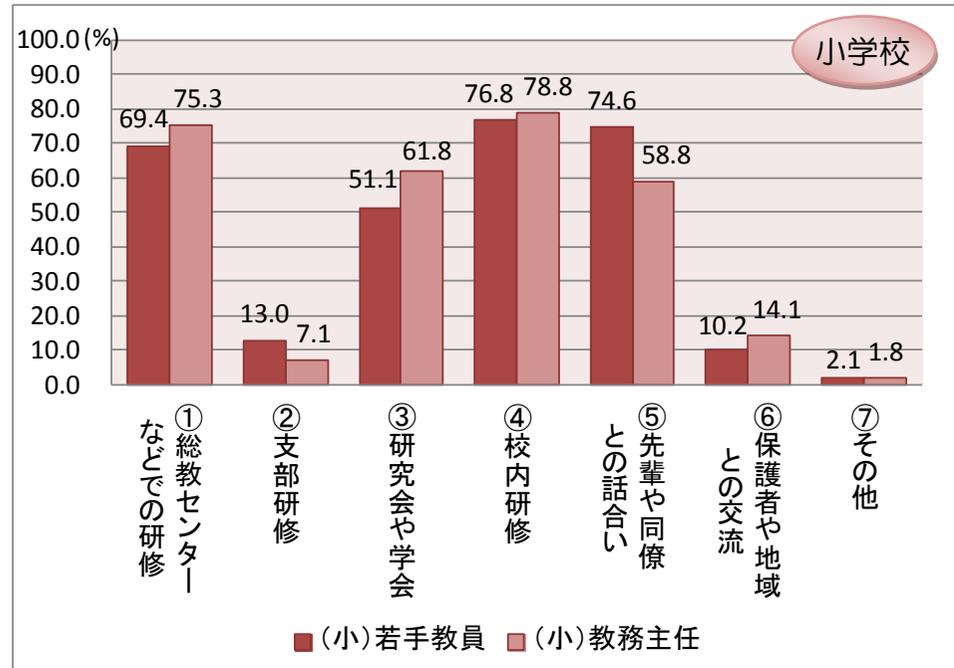
小学校	… 採用2・3年目教員：284，教務主任：170	（回収率 99.1%）
中学校	… 採用2・3年目教員：151，教務主任：73	（回収率 99.6%）

### ◆教師力を高めるための情報収集の場

若手教員用:2. あなたは、どのような場で、教師力を高める情報収集をしたいと思いますか。

教務主任用:2. あなたは、若手教員に、どのような場で、教師力を高める情報収集をしてほしいと思いますか。

【上位3つ選択，その他は記述】

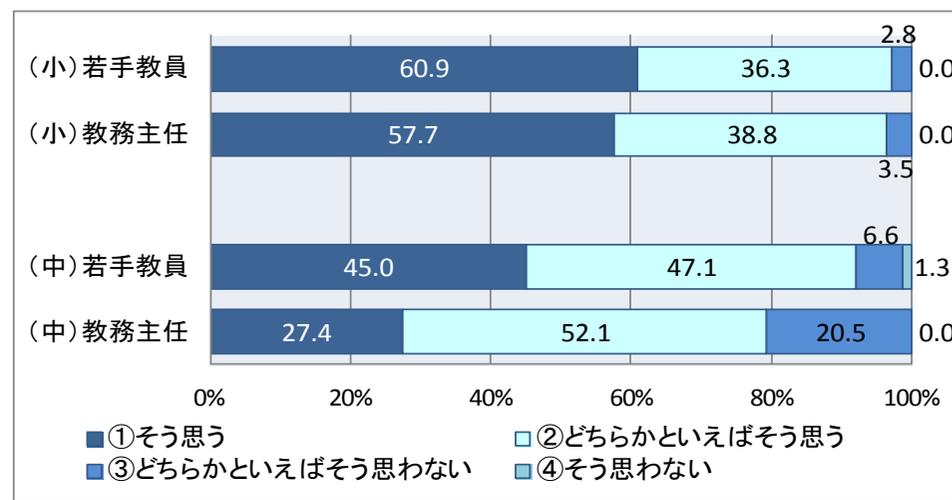


⑦その他…大学の市民講座，読書，フィールドワーク，美術館や博物館，趣味や習い事，異業種の人との交流，大学に戻って研究，など

◆校外での研修

若手教員用:3. あなたは、指名研修を除く、教育センターやその他の校外での研修(以下、「校外での研修」とする)が必要だと思いますか。  
 教務主任用:3. 若手教員には、指名研修を除く、教育センターやその他の校外での研修(以下、「校外での研修」とする)が必要だと思いますか。  
 【上位3つ選択, その他は自由記述】

若手教員用:4. あなたは、なぜ、3で回答したように思うのですか。【記述】  
 教務主任用:4. あなたは、なぜ、3で回答したように思うのですか。【記述】



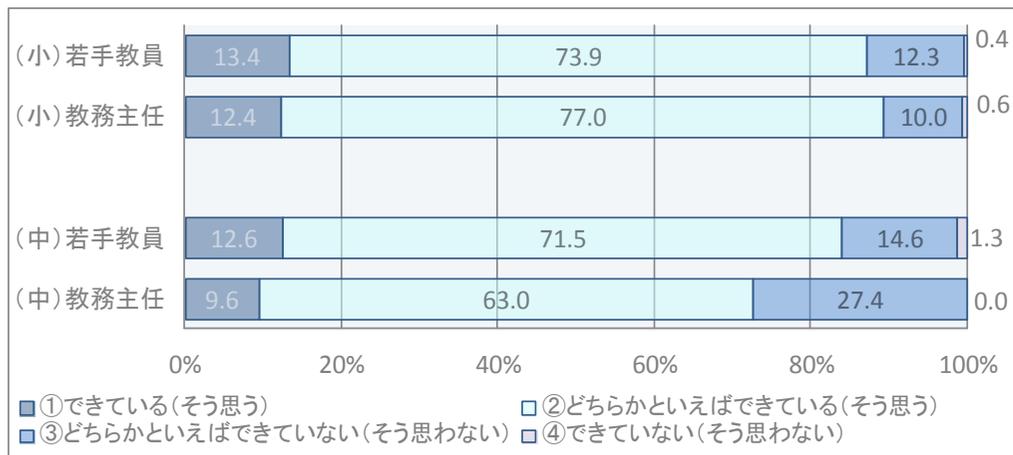
【若手教員の回答】 4. 校外での研修が必要だと思うわけ	(小)	(中)
○ 他校の様子など、たくさんの情報や刺激を得ることができるから	48	25
○ 学びたい内容を選ぶことができるから	31	1
○ 校内・指名研修だけでは不十分だから	25	16
○ 教師力向上・自分の成長のため	24	11
○ 視野が広がるから	22	14
○ 最新の情報や専門的な知識・技術を学ぶことができるから	22	12
○ 向上心が必要だから	21	8
○ 実践に生かせるから・指導力向上のため	16	11
○ 多くの人との関わりが増えるから・情報交流	13	8
○ 学ぶ機会が欲しいから	8	3
○ 意欲が高まる	5	0
○ 主体的に学ぶ場であるから	5	0
○ 得意分野・興味を伸ばすため	5	0
○ 実践の振り返りができる	0	1
○ 色々な施設の設備を利用できるから	0	1
△ 多忙で時間がないから	10	11
△ 校務に支障があるから	8	5
△ 校内での学びを大切にすべきだから	3	1
△ 子どもと関わる時間が減る	3	0
△ 時間帯が遅い	1	0
△ 効果がないから	0	4
△ 課題が違うから	0	1

【教務主任の回答】 4. 校外での研修が必要だと思うわけ	(小)	(中)
○ 専門的・先進的な情報が得られるから	36	4
○ 視野が広がるから	35	10
○ 主体的に学ぶ場だから	22	2
○ 多くの情報や刺激を得られるから	20	9
○ 指名研や校内での研修だけでは不十分だから	10	9
○ 多くの人との関わりが増えるから	10	3
○ 得意分野を伸ばせるから	7	0
○ 意図的・計画的・系統的に研修が企画されているから	6	0
○ 日々の授業に活用できるから	4	0
○ 自分自身が成長したから	4	1
○ 若いうちに吸収してほしいから	0	3
○ 基礎基本を押さえることは大切だから	2	0
○ 現場で戦力になる教員がいない	1	0
△ 校務に支障があるから	11	5
△ 多忙で時間がないから	7	5
△ 校内での学びを大切にすべきだから	4	8
△ 内容が校内の子どもの実態に即していないから	1	1
△ 価値ある研修が少ないから	2	1
△ 外での研修を支える校内体制が不十分だから	1	1

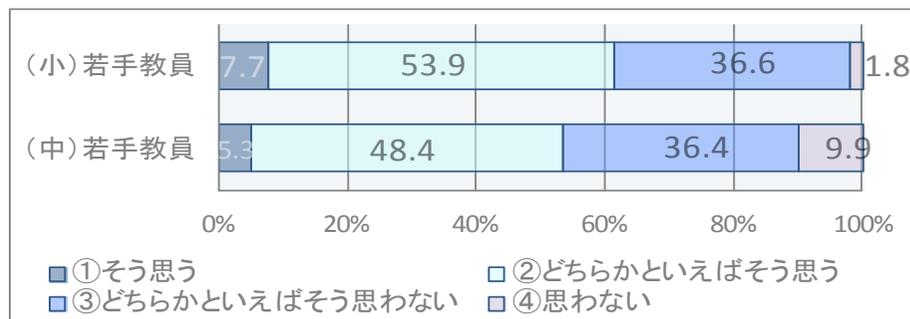
※数字は、回答数

若手教員用:5. あなたは、「校外での研修」で学んだことを実践で活かすことができますか。

教務主任用:5. 若手教員は、「校外での研修」で学んだことを実践で活かすことができますか。



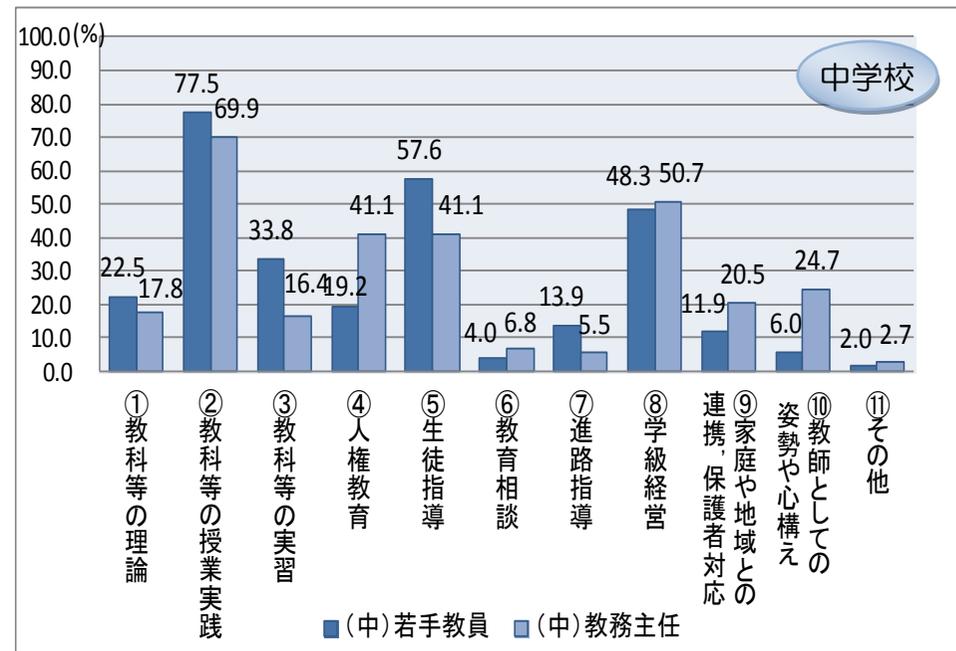
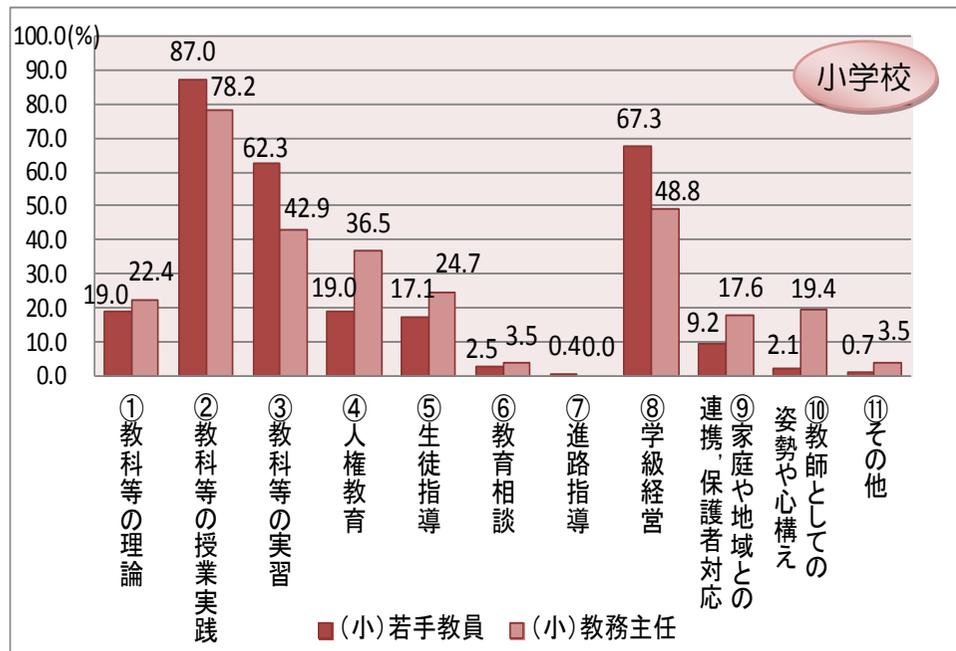
若手教員用:6. あなたは、「校外での研修」で学んだことを先輩教員や同僚に伝え、共有していますか。



若手教員用:7. あなたは、校外でどのような内容の研修に参加したいと思いますか。

教務主任用:6. 若手教員は、校外で、どのような内容の研修が必要だと思いますか。

【上位3つ選択, その他は記述】



⑪その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・ 支援が必要な子どもへの関わり方(3)
- ・ 授業見学

(教務主任)

- ・ 広く見識を深め、子どもとのつながりを豊かなものにできるような内容
- ・ 自分の興味関心のある分野
- ・ 話術
- ・ 教師自身のコミュニケーション力
- ・ 校務分掌事務の進め方
- ・ 学校経理事務
- ・ 気になる子どもとの関わり方

【中学校の回答】

(若手教員)

- ・ 支援が必要な子どもへの関わり方
- ・ 部活指導
- ・ 教育以外の分野の知識

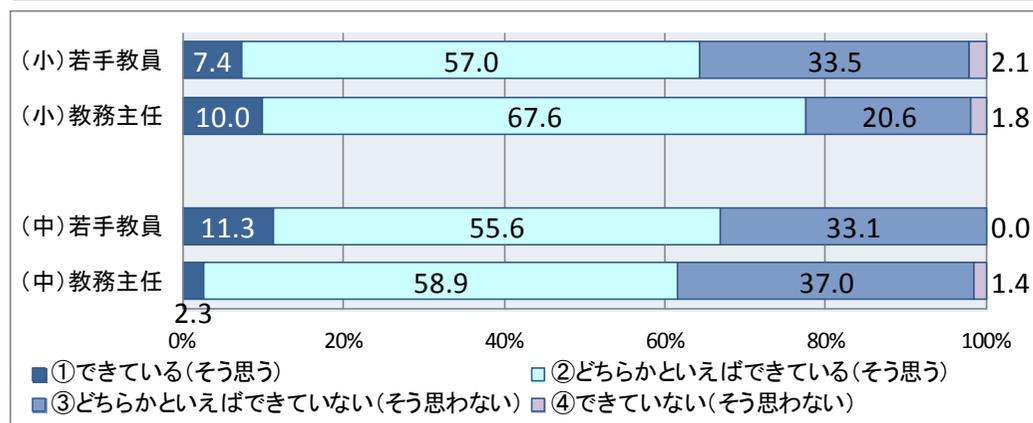
(教務主任)

- ・ 社会性
- ・ 教育以外の文化的活動
- ・ 管理と競争でない指導法

◆自己研鑽

若手教員用: 8. あなたは、教師力向上のために、自分自身の研修(研究)を進めることができますか。

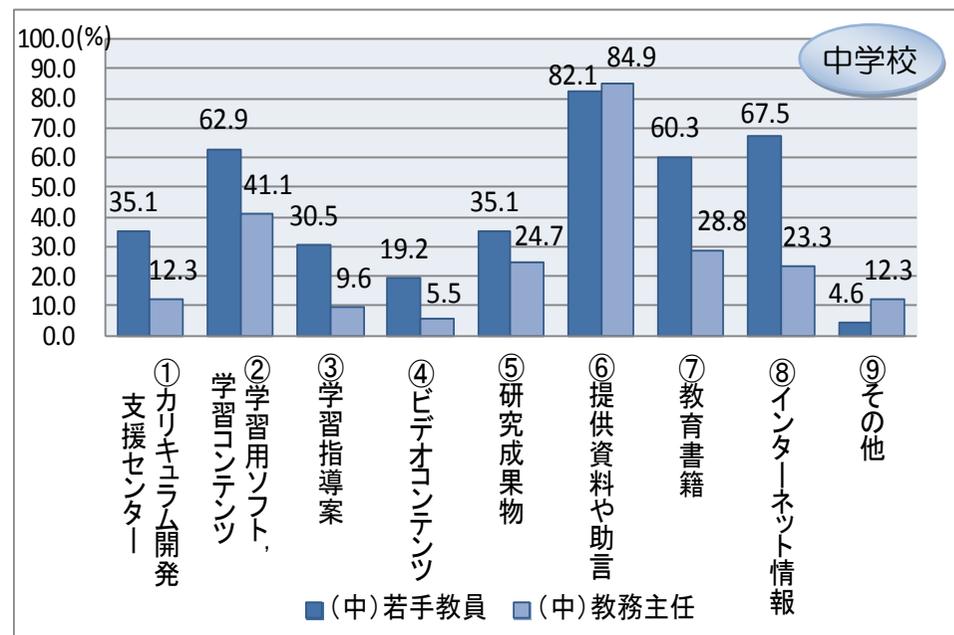
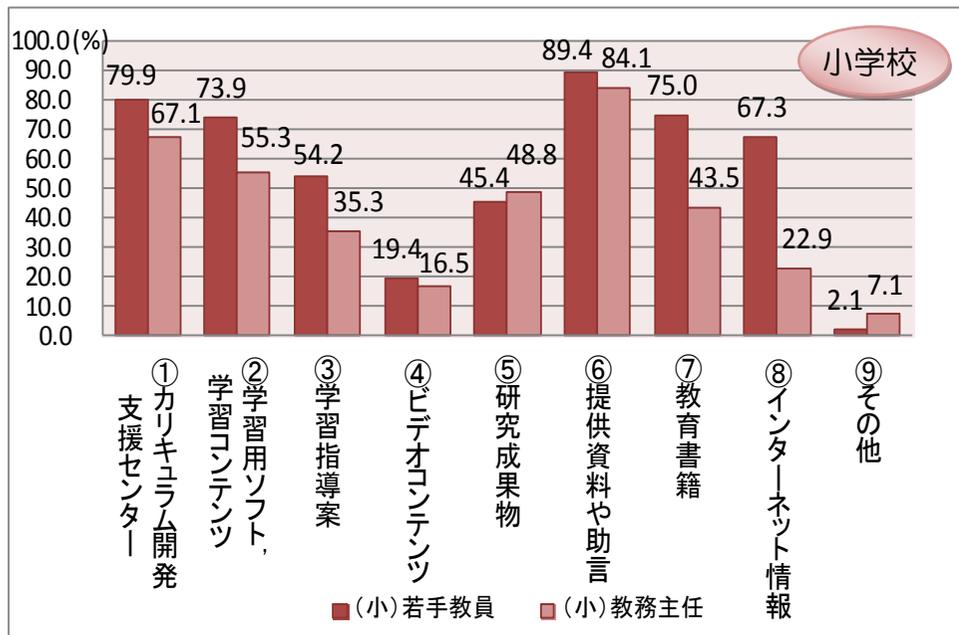
教務主任用: 7. 若手教員は、教師力向上のために、自分自身の研修(研究)を進めることができますか。



若手教員用:9. あなたが、自分自身の教師力向上のために活用したことがあるものはどれですか。

教務主任用:8. あなたが、若手教員に、自分自身の教師力向上のために勧めたことがあるものはどれですか。

【複数回答可】



⑨その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・教育フォーラムや授業力向上講座
- ・研究会活動への参加
- ・学会による他都道府県での研究
- ・大学の市民講座，大学院
- ・恩師の教員からの助言
- ・教材研究

(教務主任)

- ・総教Cでの研修
- ・研修での配布物
- ・研究会・研修会への参加
- ・文科省からの冊子
- ・自分自身が実践し，作成した教材
- ・授業を参観する機会とにかく学ぶ姿勢が重要

【中学校の回答】

(若手教員)

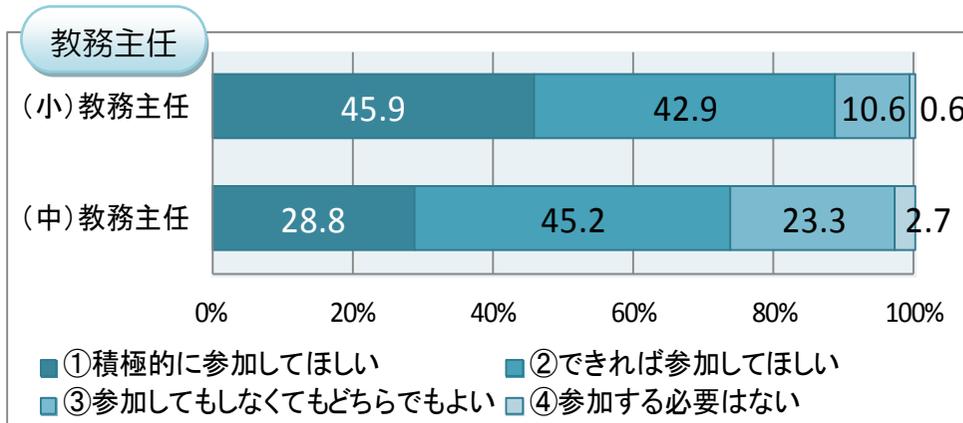
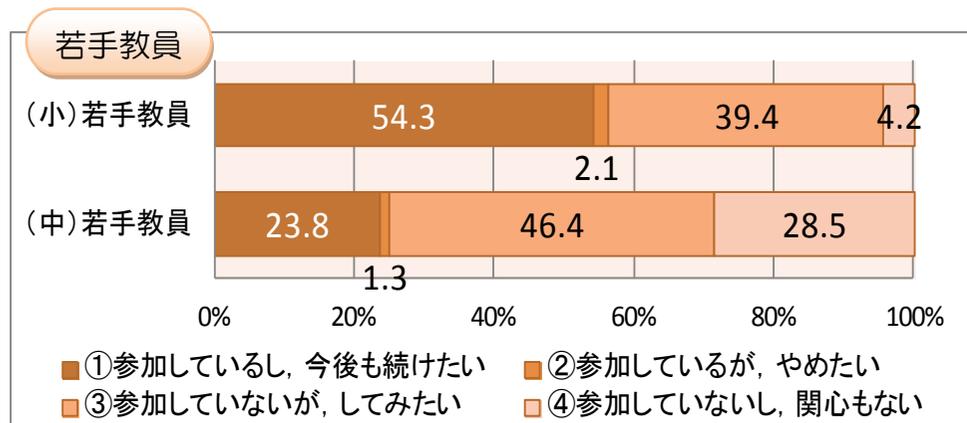
- ・同期の先生との意見や教材の交換
- ・フィールドワーク
- ・他業種の人との交流
- ・人間力向上のセミナー
- ・TOEICの勉強

(教務主任)

- ・研究会・研修会への参加
- ・生徒指導研修会への参加
- ・自分自身が実践し，作成した教材
- ・科学センターでの研修
- ・教育以外の書籍

若手教員用:10. あなたは、研究会活動(小教研・中教研)や大学・全国レベルの学会に参加していますか。

教務主任用:9. あなたは、若手教員が 研究会活動(小教研・中教研)や大学・全国レベルの学会に参加することについて、どのように思いますか。



**【小学校】参加している研究会名又は学会名 (159名回答)**

- |            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| 国語研 (19)   | 生き方探究研 (4)    | 京都理科研 (1)          |
| 書写研 (1)    | 野外活動研 (3)     | 京都教育実践研 (1)        |
| 図書研 (5)    | 教壇実践研 (2)     | 立命館学校教育研 (1)       |
| 社会研 (13)   | 教育心理研 (2)     | 日本地学学会 (1)         |
| 算数研 (18)   | カウンセリング研 (2)  | 日本地球惑星科学連合 (1)     |
| 理科研 (6)    | 生徒指導研 (2)     | 日本学校音楽教育実践学会 (1)   |
| 音楽研 (12)   | グローバルキッズ研 (2) | 全国社会教育学会 (1)       |
| 体育研 (22)   | 鼓笛研 (2)       | 数学教育協議会 (1)        |
| 表現運動研 (9)  | 教育メディア研 (1)   | 家政学会 (1)           |
| 図工研 (19)   | NIE 研 (1)     | LET 英語教育学会 (1)     |
| 家庭科研 (1)   | そうじに学ぶ研 (1)   | LD 学会 (1)          |
| 生活・総合研 (9) | 発達教育研 (1)     | 自閉症スペクトラム学会 (1)    |
| 小英語研 (15)  |               | 聴覚・視覚研 (1)         |
| 道徳研 (8)    |               | 学力研 (1)            |
| 特別活動研 (3)  |               | 授業のユニバーサルデザイン研 (1) |
|            |               | 聴能言語士協会 (1)        |

**【中学校】参加している研究会名又は学会名 (38名回答)**

- |           |              |                |
|-----------|--------------|----------------|
| 国語研 (2)   | 生徒指導研 (3)    | 日本近世文学会 (1)    |
| 書写研 (1)   | 吹奏楽研 (2)     | 日本産業技術学会 (1)   |
| 図書研 (1)   | カウンセリング研 (1) | 日体協指導者研修会 (1)  |
| 社会研 (1)   | NIE 研 (1)    | 全国英語教育学会 (1)   |
| 数学研 (1)   | 国際教育研 (1)    | 関西英語教育学会 (1)   |
| 理科研 (3)   | 中人研 (1)      | LET 英語教育学会 (2) |
| 音楽研 (2)   |              | 英文学会 (1)       |
| 体育研 (1)   |              | 理科教育学会 (1)     |
| 家庭科研 (1)  |              | 地学教育学会 (1)     |
| 中英語研 (5)  |              | 運動生理学会 (1)     |
| 道徳研 (3)   |              |                |
| 特別活動研 (2) |              |                |

若手教員用:11. あなたは、なぜ10で回答したように思うのですか。【記述】

教務主任用:10. あなたは、なぜ9で回答したように思うのですか。【記述】

【若手教員の回答】 11. 研究会活動や学会への参加の理由	(小)	(中)	【教務主任の回答】 10. 研究会活動や学会への参加について	(小)	(中)
○ 優れた授業実践を知り、実践力が向上するから	65	17	○ 視野が広がるから	44	10
○ 教師力向上・自分の成長のため	39	13	○ 専門的・先進的な情報が得られるから	27	6
○ 専門的・先進的な知識が得られるから	24	7	○ 優れた授業実践を知り、実践力が向上するから	16	6
○ 得意分野を伸ばすことができるから	21	1	○ 人とのつながりが増えるから	15	2
○ 視野が広がるから	18	14	○ 得意分野を伸ばすことができるから	14	0
○ 交流が広がる	16	8	○ 外部からの刺激が得られるから	13	8
○ 外部からの刺激が得られるから	9	3	○ 自分自身が役に立ったから	9	2
○ 実践者が少なく、存続させていかなければならないから	0	1	○ 主体的に学ぶ場だから	5	2
○ おもしろい・楽しい・やりがいがある	2	2	○ 自分の実践を客観的に振り返ることができるから	3	0
○ 学校に貢献したい	0	1	○ 苦手意識をなくすことができるから	1	0
△ 時間に余裕がないから・多忙だから	31	19	○ 個人のセンス、姿勢が重要だから	1	0
△ 子どもと関わる時間が減る	3	0	○ 若いうちに吸収すべきだから	0	3
△ やりたい方向性が決まっていない	3	0	○ 研究会の成果を次世代につなげることが必要	0	2
△ 校務に影響が出るから	2	1	○ 小さい場でたくさん話を聞いた方がよい	0	1
△ 学校の立地的に厳しいから	1	0	○ お金を出して参加すると、吸収しようと思うから	0	1
△ 自分がやりたい方向性と異なると感じる	1	0	△ 校務に支障があるから	24	4
△ プラスになると思えない	1	3	△ 多忙で時間がないから	7	13
△ 会員費が高いから	1	0	△ 校内でも十分に研修することができる	3	4
△ 内容を知らないから	0	6	△ 本人が必要だと思えば参加したらよい	3	5
△ 自分の時間がなくなるから	0	1	△ 休日や長期休業中に限る	3	1
△ 難しそうだから	0	1	△ 経済的バックアップが必要	2	2
			△ 特定の分野に限らず、幅広く学んでほしいから	2	0
			△ 研究会の活動が、仕事を引き継ぐだけでなく、「育てる」ということに力点を置いて活動しているのかどうか問題	1	0
			△ 強くは勧められない	0	3
			△ 理論ばかり学んでも役に立たない	0	2
			△ 若手教員が疲れきっているから	0	1
			△ 現場と研究会で必要とされている者が同じとは限らない	0	1

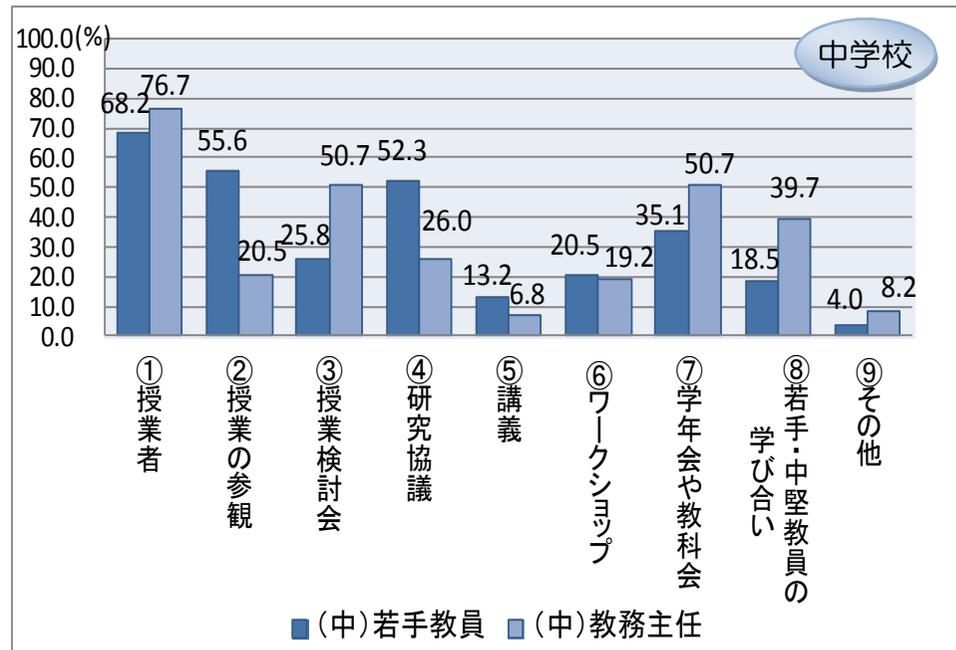
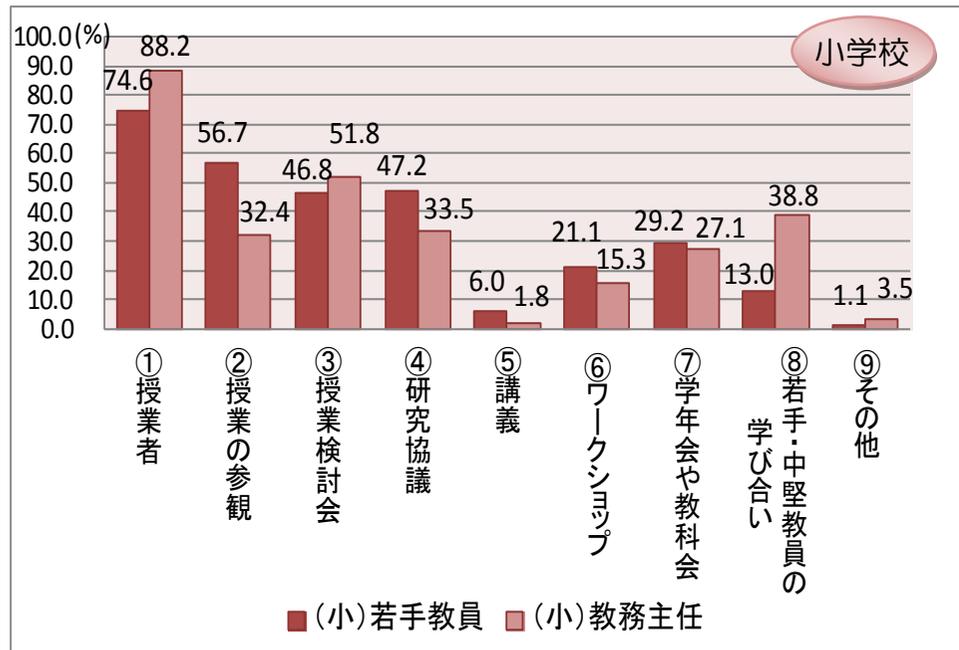
※数字は、回答数

◆校内での研修

若手教員用:12. あなたは、校内において、どのような場が教師力向上を図る上で役に立っていると思いますか。

教務主任用:11. あなたは、校内において、どのような場が若手教員の教師力向上を図る上で役立つと思いますか。

【上位3つ選択, その他は記述】



⑨その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・ 日常の授業の参観
- ・ 先輩教員による教育講座

(教務主任)

- ・ 社会人としての心構え
- ・ 優れた授業の参観,
- ・ 保護者との懇談
- ・ 先輩教員との雑談や経験を交流する場
- ・ 自分自身で行う研修
- ・ 先輩教員との雑談
- ・ 実践記録をまとめ, 自己の実践を振り返る

【中学校の回答】

(若手教員)

- ・ 日常の授業の参観
- ・ 年代を問わない学び合いの場
- ・ 職員室内での交流
- ・ 他業種の人との交流

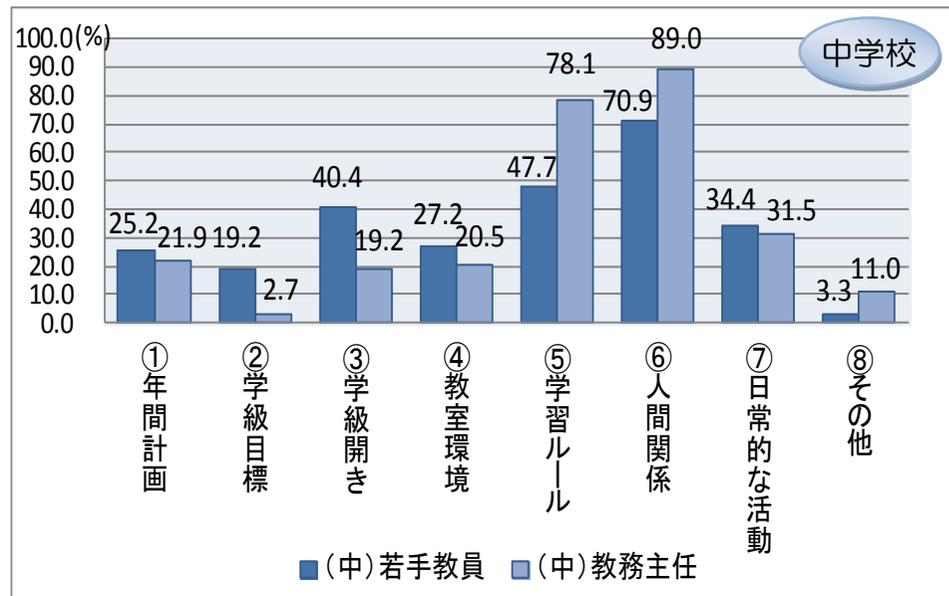
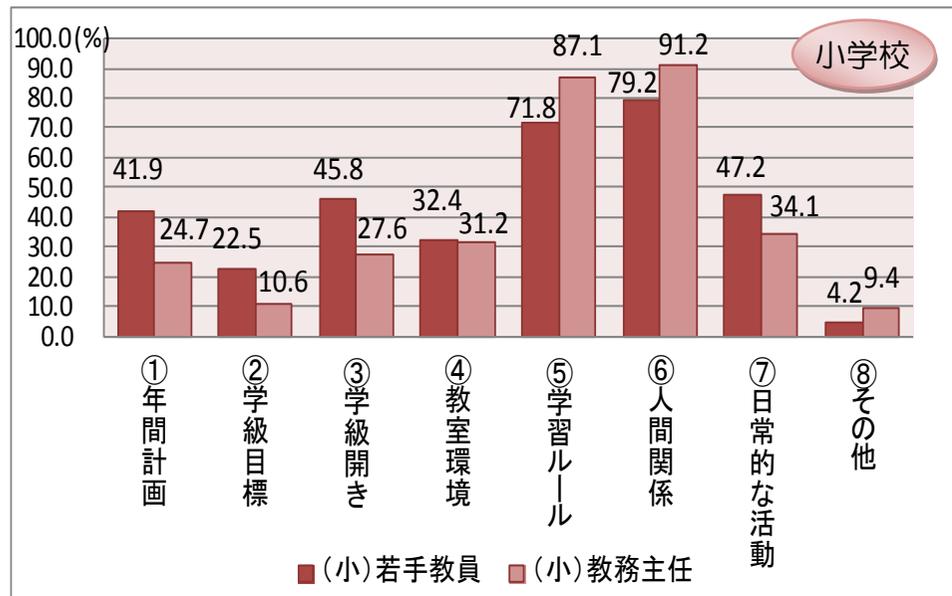
(教務主任)

- ・ 日常の会話
- ・ 部活指導
- ・ 中堅・ベテランと組んで経験を積む
- ・ 生徒に接する全ての場面
- ・ 若手道場

若手教員用:13. あなたは、学級経営において、どのような内容で困ったり悩んだりしましたか。

教務主任用:12. 若手教員は、学級経営において、どのような内容で困ったり悩んだりしています(した)か。

【複数回答可, その他は記述】



⑧その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・特別支援が必要な子どもや不登校児など、個々への関わり (5)
- ・保護者対応 (懇談会, 家庭訪問など) (2)
- ・教材研究 (2)
- ・教師と子どもたちとの人間関係づくり (2)
- ・生徒指導
- ・他学年との関わり
- ・子ども一人一人の意識のもち方

(教務主任)

- ・保護者対応 (懇談会, 家庭訪問など) (10)
- ・特別支援が必要な子どもや不登校児など、個々への関わり (2)
- ・子どもとの距離感, コミュニケーション (2)
- ・日常の授業実践
- ・総合的な学習の時間の進め方
- ・校務分掌
- ・対外的な対応

【中学校の回答】

(若手教員)

- ・特別支援が必要な子どもや不登校児など、個々への関わり
- ・保護者対応 (懇談会, 家庭訪問など)
- ・子どものいきいきとした笑顔を引き出すこと
- ・主体的に行動できる生徒の育成
- ・リーダーを育てること
- ・合唱で楽しく歌わせること
- ・学年教師間の関係づくり

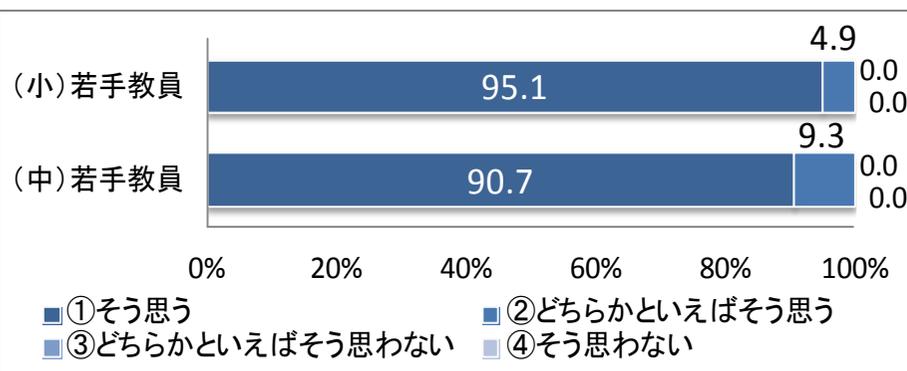
(教務主任)

- ・保護者対応 (懇談会, 家庭訪問など)
- ・特別支援が必要な子どもや不登校児など、個々への関わり
- ・子どもとの関わり方や距離感
- ・生徒指導
- ・行事の取組
- ・自分の思いを伝える方法

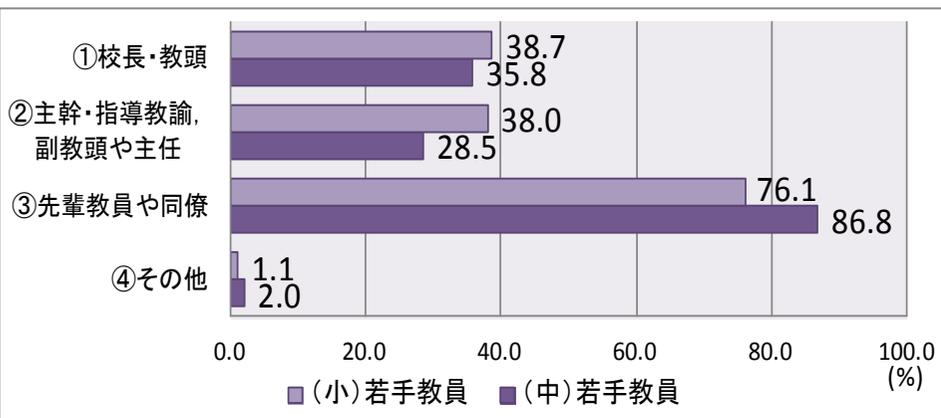
若手教員用:14. あなたは、校内で、先輩教員や同僚から助言(アドバイス)を受ける機会がどの程度ありますか。

教務主任用:13. あなたは、校内で、若手教員に助言(アドバイス)をする機会がどの程度ありますか。

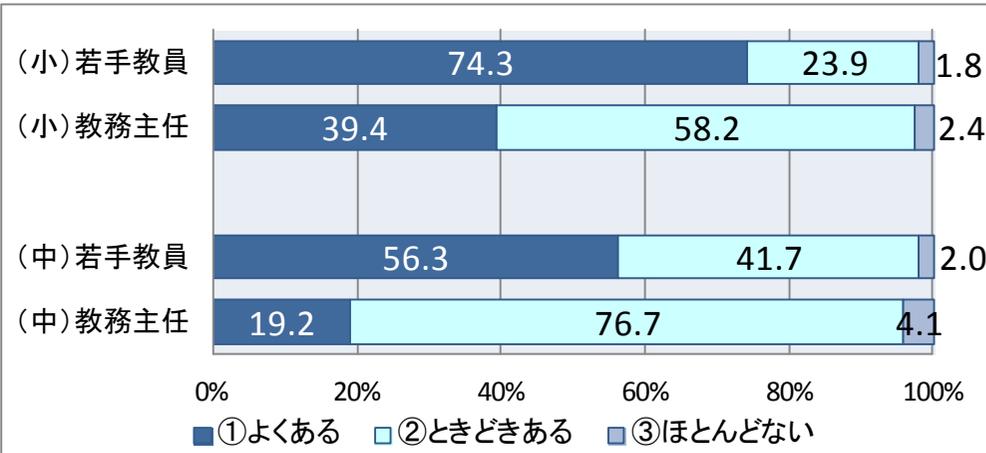
若手教員用:15. あなたは、校内での先輩教員や同僚からの助言が必要だと思いますか。



若手教員用:17. あなたは、校内で、だれから助言を受けることが多いですか。【複数回答可】



④その他…養護教諭, スクールカウンセラー, 管理用務員, 事務職員, 生徒や保護者



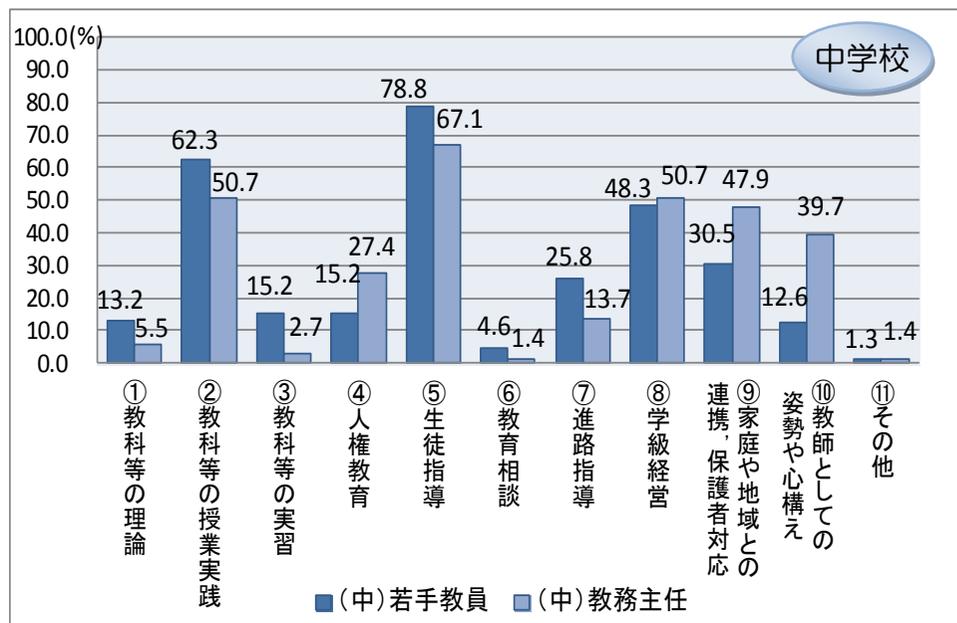
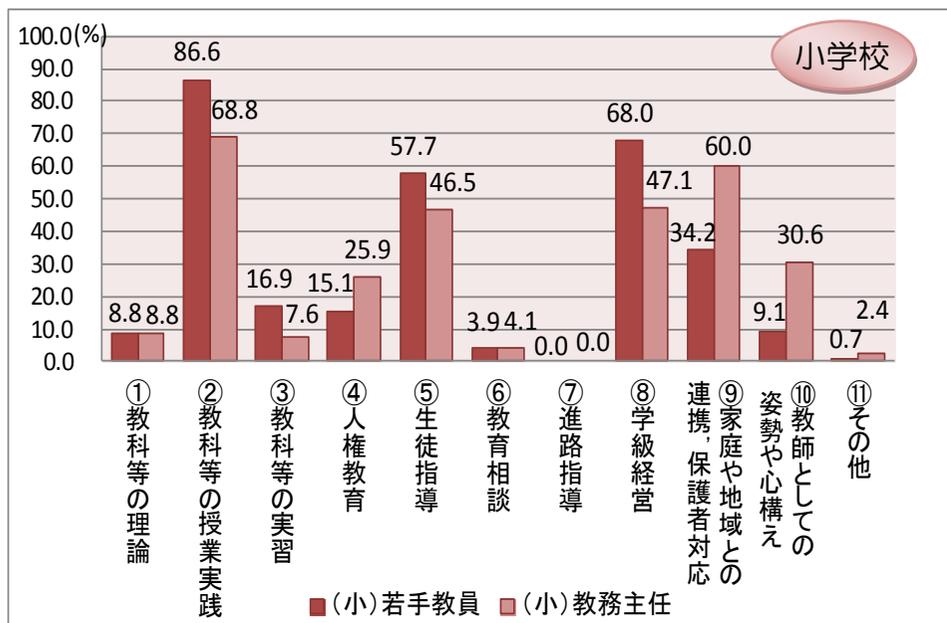
若手教員用:16. あなたは、なぜ、15で回答したように思うのですか。 【記述】

【若手教員の回答】 16. 助言が必要だと思う理由	(小)	(中)
的確・客観的な助言がもらえる	40	12
気付かない点に気付くことができる	37	16
視野が広がる・多くのことが学べる	36	12
経験に基づいた助言がもらえる	35	24
実態に即した助言がもらえる	32	13
一人で悩みを解決できない	19	13
助言によって解決・改善したことが多くある	16	1
プラスになる	13	5
自分を一番理解してくれている	9	2
同僚と情報を共有することが大切だから	8	5
人との関わり・学校が活性化する	6	4
身近で相談しやすい	6	0
安心して仕事ができる・自信がもてる	5	1
振り返りや実践の変容が話せる	2	0
△ 全てを助言で解決すべきではない	1	1
△ ジェネレーションギャップ	1	0
△ 今の子どもへの反応に合わない	1	0
△ 指摘できる人が少ない	0	1

※数字は、回答数

若手教員用:18. あなたは、どのような内容の助言を受けたいと思いますか。  
 教務主任用:14. 若手教員には、どのような内容の助言が必要だと思いますか。

【上位3つ選択, その他は記述】



⑪その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・行事などの取組
- ・総合育成支援教育

(教務主任)

- ・社会人, 大人としての常識
- ・児童理解, 保護者理解
- ・個と場に応じて
- ・探究力や許容力

【中学校の回答】

(若手教員)

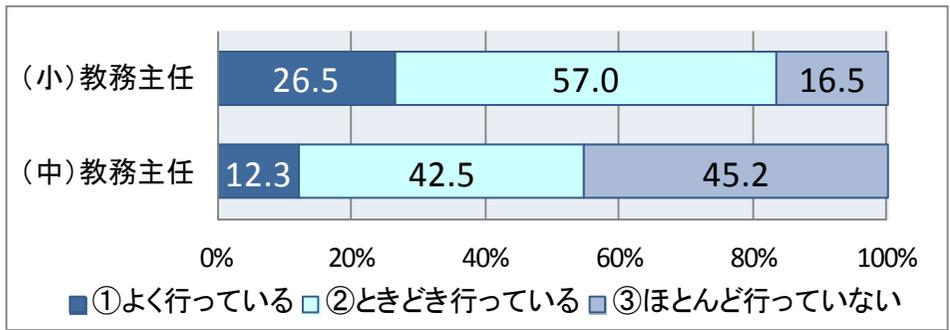
- ・部活動
- ・人間としての姿勢や心構え

(教務主任)

- ・人間としての生き方

◆校内における組織的な取組

教務主任用:15. あなたの学校は、「若手教員の教師力向上」に焦点をあてた、組織的な取組や助言を行っていますか。

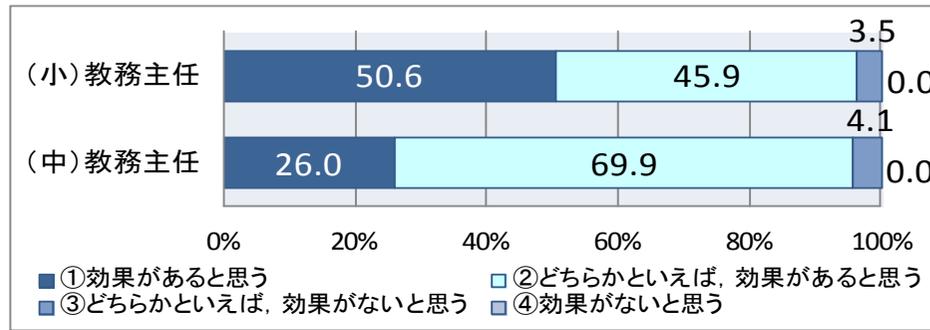


教務主任用:16. 15で①②「…行っている」と回答された方にお聞きします。どのような組織的な取組を行っていますか。【記述】

【教務主任の回答】 16. 組織的な取組の内容	(小)	(中)
若手教員の授業研究に対する指導助言	26	3
先輩教員の授業参観・師範授業	13	1
校内研究とリンク	9	3
実技研修	5	0
教材研究	4	1
支部での若手研修会	3	0
ベテラン教員・中堅教員が講師	3	0
フリートーキング	2	1
学級経営等の自主研修会	2	0
外部講師を招いて研修	2	0
学校長・教頭・学指部長が計画	1	2
職員会議・研修会の後に	1	1
主任を中心とした学年経営	1	1
得意分野の研修	1	0
地域の方々との話合いの場	1	0
教科会での授業研究	0	2
生徒指導・保護者対応	0	2
食事会を企画しコミュニケーションを図る	0	1

※数字は、  
回答数

教務主任用:17. あなたは、教師力の向上をめざして若手・中堅教員が主体的に学び合う取組(「若手・中堅教員実践道場」など)について、効果があると思いますか。



教務主任用:18. あなたは、なぜ17で回答したように思うのですか。【記述】

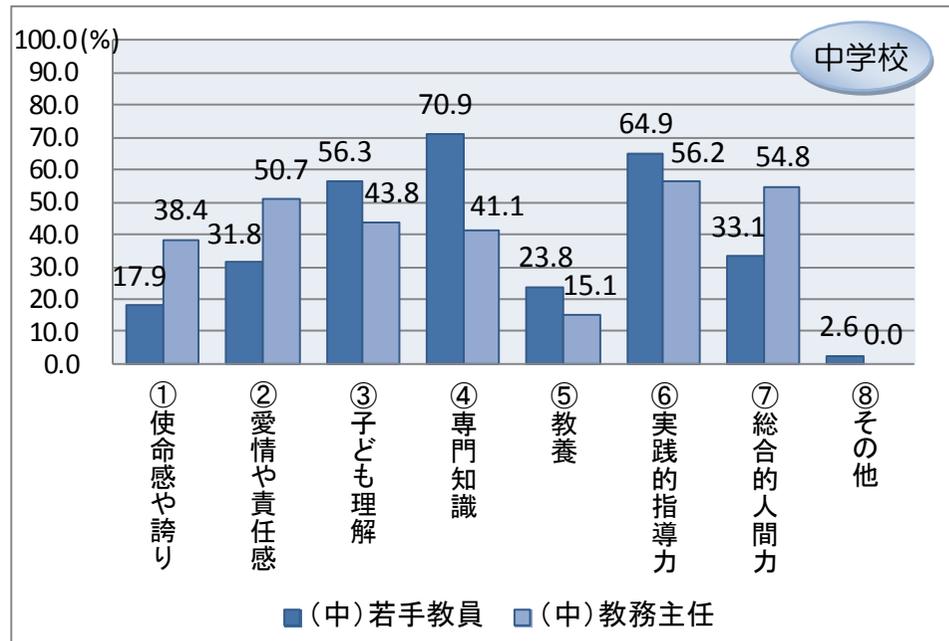
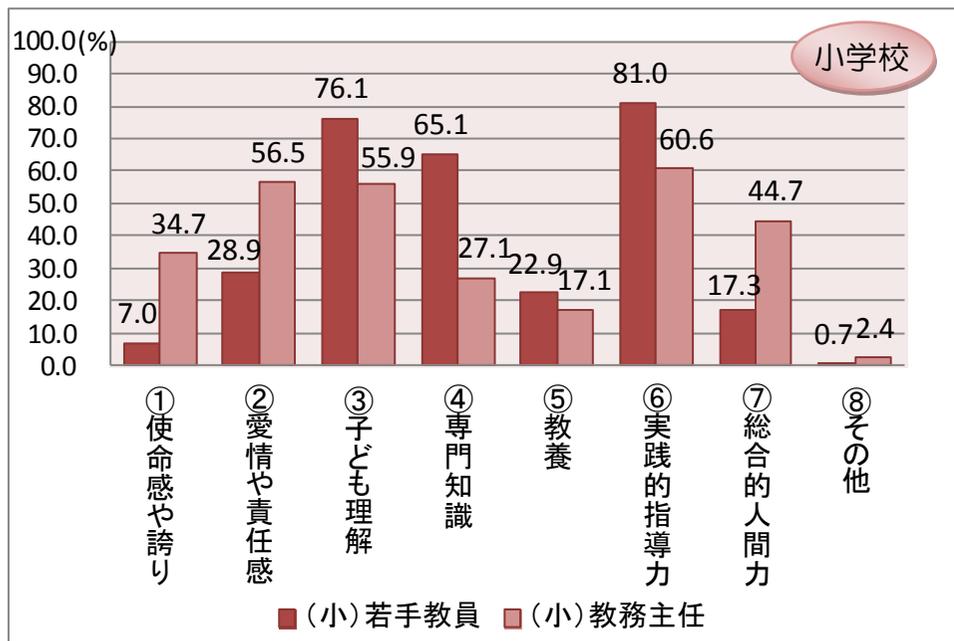
【教務主任の回答】 18. 主体的に学び合う取組の効果の理由	(小)	(中)
○ 具体的な悩みやアドバイスをお互いに話しやすいから	36	4
○ 主体的な学びの場だから	20	8
○ 実態に即した課題の解決につながるから	15	6
○ 若手同士・お互いの刺激になり、意欲が向上するから	14	4
○ 即実践・実践力向上につながるから	13	3
○ 仲間意識が高まり、学校組織が活性化するから	8	0
○ 少数で情報交流ができるから	5	5
○ 中堅・ベテラン教員が講師になることで、教える側の力にもなるから	4	0
○ 日常的なコミュニケーションにつながるから	2	2
△ 多忙で時間がない	13	3
△ 参加者の意欲、積極性が足りない	8	3
△ ニーズに応じたテーマや方法、場の設定が必要	8	2
△ 中堅・ベテラン教員の資質向上が必要	3	0
△ 助言者や取組の評価者が必要	2	1
△ 討論の経験不足	1	0
△ 内容をよく知らない	0	6
△ 職場で育てる意識を高めることが必要	0	2
△ 講義形式より、リスクマネジメントなどの研修なら効果がある	0	1

◆高めていきたい教師力

若手教員用: 19. あなたは, どのような教師力を更に高めていきたいですか。

教務主任用: 19. あなたは, 若手教員にどのような教師力を更に高めてほしいと思いますか。

【上位3つ選択, その他は記述】



⑧その他…

【小学校の回答】

(若手教員)

- ・優先順位の付け方
- ・目的のために組織をシステム化すること
- ・学級経営力

(教務主任)

- ・常識力
- ・親の願いについて話せる教師
- ・若くとも, 子や親に対して毅然として対応すること
- ・決められた時刻までに仕事をやりぬく力

【中学校の回答】

(若手教員)

- ・保護者対応・部活指導(2)
- ・子どもの成長や発達を導く力

(教務主任)

- ・常識力

## <調査結果から見えてきたこと>

### ◆教師力を高めるための情報収集の場

- ・小学校においては、④校内研修や①総教Cでの研修を情報収集の場と考えている。
- ・中学校においては、⑤先輩や同僚との話し合いを情報収集の場と考えている割合が8割を超える。また、②支部研修においては、中学校若手教員の約1/3が「情報収集をしたい場」と考えており、支部での研修が充実していることがうかがえる。

### ◆校外での研修

- ・校外での研修が必要だと考えている割合は、教務主任より若手教員の方が高い。
- ・「校外での研修は必要だと思うが、多忙で時間がない」「校外で研修よりも校務を優先すべき」という意見もあった。
- ・校外での研修で学んだことを実践に生かしている割合に比べ、校内で共有している割合は低い。
- ・校外での研修において、②教科等の授業実践や⑧学級経営に関する研修ニーズが高い。小学校においては③教科等の実習が、中学校においては⑤生徒指導が次いで高い。
- ・④人権教育、⑨家庭や地域との連携、保護者対応、⑩教師としての姿勢や心構えについては、教務主任の方が若手教員よりもニーズが高い。
- ・小学校は、⑦進路指導に関する研修の必要感が全くない。
- ・「支援が必要な子どもへの関わり方」についての研修ニーズもある。

### ◆自己研鑽

- ・若手教員は、教務主任の勧めるツールだけではなく、自分自身で様々なツールを活用し、研修（研鑽）している。
- ・中学校の①カリC活用は1/3程度であり、小学校に比べると低い。
- ・研究会活動や学会の参加状況は、小学校が中学校の約2倍となっている。また、教務主任が勧める割合は、小学校の方が中学校より高い。

### ◆校内での研修

- ・教務主任は、小・中学校ともに、①授業者として行う研究授業が最も役立つと考えている。②授業の参観については、若手教員に比べて教務主任の役立ち感は低い。
- ・⑧若手・中堅教員が主体的に学び合う取組については、1/3を超える教務主任は役立つと回答しているのに対し、若手教員は、1割を超える程度である。
- ・③授業検討会については、小・中学校の教務主任や小学校の若手教員の約半数が役立つと感じているのに比べ、中学校の若手教員は1/4程度と低い。
- ・⑤講義形式の研修よりも⑥ワークショップ形式の方が、若手教員・教務主任ともに役立つと感じている。
- ・若手教員が抱える学級経営に関する悩みは、小学校が中学校の約1.3倍となっている。小・中学校ともに、⑥子ども同士の人間関係づくり、⑤学習ルールや規律づくりについての困りや悩みが多い。支援が必要な子どもへの関わりについても悩みがある。
- ・校内での助言については、③先輩教員や同僚から受ける機会が、①管理職や②主幹・指導教諭や主任よりも多く、約2倍となっている。

### ◆校内における組織的な取組

- ・組織的な取組や助言については、小学校の方が中学校よりもよく行っている。中学校でほとんど行っていない学校は45.2%に及ぶ。内容をよく知らないという回答もあった。
- ・小・中学校の教務主任の約9割5分は、「効果がある」「どちらかといえば、効果がある」と感じている。

### ◆高めていきたい教師力

- ・若手教員は、③子ども理解、④専門知識、⑥実践的指導力を高めたいと考えているが、教務主任は、①使命感や誇り、②愛情や責任感、⑦総合的人間力を高めてほしいと考えている。